

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	温泉情緒と鶴仙溪の自然を活かした温泉街の魅力づくり											
計画の期間	令和元年度 ～ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	加賀市											
計画の目標	<p>【大目標】温泉情緒と伝統文化にふれる周遊型観光まちづくりの推進</p> <p>目標1：温泉・歴史・伝統・文化と鶴仙溪の自然を活かした温泉街の魅力づくり</p> <p>目標2：菊の湯を核としたまちなか周遊拠点の機能強化による賑わいづくり</p> <p>目標3：ゆげ街道の賑わい延伸と</p>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	109.5	A	109.5	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29, H30 当初)	中間目標値 (R3 末)	最終目標値 (R5 末)
1	山中温泉の宿泊施設の年間入込客数を464,379人/年(H29)から510,000人/年(R5)に増加 山中温泉の宿泊施設の年間入込客数を調査する。	464,379人/年	490,000人/年	510,000人/年
2	直近5ヶ年の商店街店舗数減少を4%/5年(H29)から2%/5年(R5)に抑制 商店街店舗数減少率(直近5ヶ年)を調査する。	4%/5年	3%/5年	2%/5年
3	湯の本町通り通行者数を403人/10h(H30)から600人/10h(R5)に増加 湯の本町通り通行者数を調査する。	403人/10h	520人/10h	600人/10h

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
加賀市にて評価を実施（加賀市都市再生整備計画事後評価委員会を開催）	令和6年7月
	公表の方法 加賀市ホームページにて公開

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉街と地域資源を結ぶ歩行者ネットワークとなる散策路およびサインの整備により回遊性が向上し、温泉街の魅力づくりにつながった。 ・温泉街の中心となる総湯菊の湯の広場整備により、まちなか散策の拠点機能の強化が図られた。また、広場を活用したイベント開催等により、周辺商店街・地域住民と観光客の交流が促進し、賑わい創出につながった。 ・湯の本町通りの散策路整備や、情報案内看板及びこおろぎ橋のトイレを整備し、それにあわせて本町通りでは石川県の街路事業が令和2年度より着手された。また、旧よしのや依緑園の庭園や（仮称）湯の本広場、大獅子展示施設といった拠点を整備した事により、温泉街の周遊ルートが確立し、山中温泉全体のまち歩きの促進につながった。
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<p>道路修景整備を契機に湯の本町商店街のまちづくり活動が活発化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店振興会主導による湯の本町通り開通（本事業による散策路整備）記念式典の開催。 ・商店街の歴史と魅力を発信する「山中温泉想いで写真展」の開催。 ・商店振興会や「ボランティアやまなかつ子」の子どもたちによる花の植えによる環境整備。 ・空き店舗を活用したインバウンド対応型カフェ（おしゃべりカフェ茶々）取組。

○特記事項（今後の方針等）

- ・整備した散策路について、回遊性向上による賑わい創出に向け、ソフト的な対策を推進する（まち歩き案内人やコンシェルジュ等の育成支援、クイズラリー等の実施など、散策路を活用したイベントの開催支援）
- ・温泉街の中心としての賑わいが持続するよう地元主導によるイベント等での活用を支援する（地元住民と観光客等が交流できる体験型の各種イベント開催支援）
- ・総湯から山中温泉の周遊を促進できるような温泉情緒ある歴史的景観を保全・継承し情報発信する（総湯を中心とした温泉情緒あふれる街並みの維持保全、二次元コードを活用した魅力発信）

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	山中温泉観光入込客数		
	最終目標値	510,000人／年	新型コロナウイルスの影響による入込客数の大幅な減少により目標値には達していないものの、直近3年間で見ると、自粛されていた観光や移動が動き出し顕著な伸びが見られるため、今後は増加が見込める。
	最終実績値	287,720人／年	
2	商店街店舗数減少率（直近5ヶ年）		
	最終目標値	2％／5年	菊の湯周辺のまちなか周遊拠点としての強化と温泉街の中心部と地域資源を結ぶ散策ネットワークの充実により、温泉商店街における店舗の減少を抑えるとともに、新たな店舗の出店も見られる。
	最終実績値	0％／5年	
3	湯の本町通り通行者数		
	最終目標値	600人／10h	新型コロナウイルスの影響による観光客の低迷が影響し、目標値には達していないものの、菊の湯広場、(仮称)湯の本広場、湯の本通り、大獅子展示施設等の菊の湯周辺のまちなか周遊拠点の強化・充実は図られており、新幹線開業後は目標以上の通行量も見られた。
	最終実績値	472人／10h	